

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	豊栄児童センター		
管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社	指定期間	令和6年4月1日 ~ 令和9年3月31日
担当課	北区健康福祉課		
所在地	新潟市北区東栄町2丁目14番26号		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市児童館条例		
施設概要	敷地面積2094.87㎡ 建築面積612.26㎡ 延床面積519.15㎡物構造 鉄骨造平屋立て 主な施設内容（構成施設の内容） ・ ボランティア室（28.60㎡） ・ 集会室（38.22㎡） ・ 図書と映像の部屋（30.16㎡） ・ 体育遊戯室（191.40㎡） ・ 創作の部屋（38.58㎡） ・ 事務室（31.83㎡） ほか		

施設設置目的
児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにすることを目的として設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
（１）地域児童の健全育成と子育て支援の拠点として、地域社会と協力連携しながら、児童をはじめ地域住民に親しまれる児童館とする。 （２）児童がいつでも自由に利用できる、安全で安心な遊び場としての機能を備えるとともに、児童に健全な遊びや情報の提供を行う。 （３）児童館は、子どもが安全に安心して過ごせる居場所になることが求められることから、特に豊栄児童センターにおいては、中学生・高校生の居場所となるよう運営を行う。 （４）子どもの居場所づくりに取り組む地域や団体への支援を通して、地域全体で健全育成を進める環境づくりを行う。

令和7年度

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	利用者数	地域の児童が恒常的に来館しているか。イベントや行事等について北区全体からの参加があるか。	年間利用者数 24,301人(前年度より1,525人減) 木崎、松浜地区からの利用が前年度より増えた。センターまつりには北区各小学校から参加があった。	B	
	地域への支援	子どもの居場所づくりに取り組む地域や団体への支援を行ったか	公民館と共催でイベントを実施したり、地域の居場所作りを行っている団体のチラシを掲示、子どもたちに声掛けなどを行った。	B	
	満足度	利用者（保護者）アンケートで「満足」が多数であるか	無記入以外の利用者の100%がまた来館したいと回答している。	A	アンケート結果から利用者の満足度の高さが伺える。
	要望、苦情への対応	要望、苦情への対応が速やかにされたか	常に速やかに対応し、職員間で共有している。また必要に応じて、健康福祉課にも報告している。	B	
財 務	管理経費の節減	管理経費の節減の取り組み、工夫が十分であるか	その日の気温や利用者状況に応じて、不要な冷暖房や電気を消したり、職員間で節約できる場面を共有したりして節約に努めた。	B	
業 務	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書等に定める事項の遵守	遵守している。	B	
	行事の実施	児童等を対象とした行事を計画どおり実施したか	乳幼児対象72回実施。参加者801人。 小学生以上対象61回実施。参加者数762人。 合計133回、1563人参加。(昨年度は123回、1416人参加) 昨年度実施できなかったセンターまつりも含めてほぼ計画通り実施できた。	B	
	中学生・高校生向けの取り組み実施	中学生・高校生が恒常的に来館しているか	中学生利用者数4,161人 (前年度より323人減) 高校生利用者214人 (前年度より84人増) 恒常的に中高生の利用が見られる。	A	前年度に引き続き、多数の中学生が恒常的に来館している。
	事故・災害発生時の対応	マニュアルの策定、訓練等の実施状況	非常時の各種マニュアルを策定、ファイリングしてある。 規定通りの避難訓練等実施。	B	
人 材	職員研修の実施	内部研修の実施、外部研修への参加が十分であるか	研修参加人数42人、参加回数30回 外部研修も積極的に参加した。昨年度と比較して大幅に増えた。	A	動画研修を活用し、多数の職員が研修に参加できるよう工夫している。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	労働関係法令を遵守している。	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

- ・前年度実施できず課題に残った児童センターまつりについては、近隣の中学生から大学生のボランティアに協力してもらい、実施することができた。利用者からも好評だった。
- ・研修については、管理運営団体独自の研修ツールを活用したことで前年度の研修参加回数3回から今年度は30回に増えて、職員の資質向上につながった。
- ・中学生の利用が爆発的に増えた昨年度と比べて今年度は少し利用が落ち着いたが、一昨年の1751人と比べて利用者数は増えたまま維持できた。中学生の利用人数は減少したが玄関先や駐車場で話をすることもあり、利用人数には含まれていない来館もあった。中学生がいつでも来館できるような関係性はできていると感じている。高校生は昨年度より増えており、昨年度中学を卒業した子どもたちが高校生になっても引き続き利用する様子が見られた。
- ・次年度は中高生のイベント数、参加者数を増やすことを課題とし、中高生向けスポーツイベントを定期的実施したい。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

前年度に引き続き、中高学生の居場所としても利用されている。幅広い利用者がいる中、一人一人のこどもや保護者に寄り添い、意見・要望にも丁寧に対応していることが、アンケート結果からも伺える。以上の点などから、施設目的を達成しているものと評価する。

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	早通児童センター			
管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社	指定期間	令和6年4月1日	～ 令和9年3月31日
担当課	北区健康福祉課			
所在地	新潟市北区早通37番地1			
根拠法令	児童福祉法			
設置条例	新潟市児童館条例			
施設概要	敷地面積約500㎡、延床面積336.88㎡ 鉄骨造平屋立て 主な施設内容（構成施設の内容） ・ 集会室（44.50㎡） ・ 図書室（38.70㎡） ・ 体育遊戯室（145.76㎡） ・ 事務室（18.45㎡） ほか			

施設設置目的
児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにすることを目的として設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
（１）地域児童の健全育成と子育て支援の拠点として、地域社会と協力連携しながら、児童をはじめ地域住民に親しまれる児童館とする。
（２）児童がいつでも自由に利用できる、安全で安心な遊び場としての機能を備えるとともに、児童に健全な遊びや情報の提供を行う。
（３）児童館は、子どもが安全に安心して過ごせる居場所になることが求められることから、特に豊栄児童センターにおいては、中学生・高校生の居場所となるよう運営を行う。
（４）子どもの居場所づくりに取り組む地域や団体への支援を通して、地域全体で健全育成を進める環境づくりを行う。

令和7年度

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	利用者数	地域の児童が恒常的に来館しているか。イベントや行事等について北区全体からの参加があるか。	昨年を2,000人ほど上回る年間16,461人の利用があった。親子行事は北区全体や近隣市町村からの参加もあった。	A	利用制限がなかった一昨年と比べても、年間利用者数が大幅に増加している。
	地域との連携	地域コミュニティや小中学校との事業共同開催	地域クラブや地域の方、中学生と連携した行事を実施した。61回	A	地域クラブと連携した事業を多数行っている。
	満足度	利用者（保護者）アンケートで「満足」が多数であるか	小中学生、保護者のほぼ100%が「満足」と回答している。	A	アンケート結果から利用者の満足度の高さが伺える。
	要望、苦情への対応	要望、苦情への対応が速やかにされたか	要望には真摯に対応し、苦情には全職員で共有し、速やかな対応に努めた。	B	
財 務	管理経費の節減	管理経費の節減の取り組み、工夫が十分であるか	全職員で節減意識を徹底し光熱水量の節減に努めた。	B	
業 務	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書等に定める事項の遵守	遵守事項について職員の共通理解を図り徹底した。	B	
	行事の実施	児童等を対象とした行事を計画どおり実施したか	地域の方の協力を得ながら計画どおり実施した。	B	
	中学生・高校生向けの取り組み実施	中学生・高校生が恒常的に来館しているか	中高生サポーター組織の充実や行事の広報により中学生の利用促進に努めた。	B	
	事故・災害発生時の対応	マニュアルの策定、訓練等の実施状況	安全管理や環境整備に努め、災害等の避難訓練を実施した。	B	
人 材	職員研修の実施	内部研修の実施、外部研修への参加が十分であるか	積極的に各種研修に参加するとともに、OJTによる研修を実施した。	B	
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	就業規則等を遵守し、よりよい労働環境の構築を図った。	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていない)

指定管理者記載欄（アピールしたい事項・未達成項目への改善策等）

年間利用者数は大幅に増加し、昨年を2,000人ほど上回る16,461人であった。乳幼児から小学生まで全般に渡って利用が増えた。なかでも乳幼児の利用は1,796人で一番多かった。乳幼児保護者で組織するいちごクラブの意見を取り入れた行事、全国ネットワークを活用した行事、わくわくこどもかいぎで企画した行事など様々な行事を実施したことで利用者が増加したと考える。

今後も、こどもたちが安心して過ごせる居場所となるように環境を整えるとともに、こどもたちや保護者の意見を取り入れた行事の実施、中学生の利用増に向けた取組などに力を入れていきたい。また、SNS などによる広報活動の一層の充実を図り、より多くの方から愛される児童センターを目指していきたい。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 （ 所 見 ）

地域クラブと連携したり、全国ネットワークを活用した新しい企画を取り入れたりして、こどもや保護者のニーズをとらえた事業を行い、利用者数を増加させている。利用者アンケートでも高い評価を得ている。以上の点などから、施設目的を達成しているものと評価する。

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施 設 名	三ツ森児童館		
管 理 者 名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社	指 定 期 間	令和6年4月1日 ~ 令和9年3月31日
担 当 課	北区健康福祉課		
所 在 地	新潟市北区高森429番地		
根 拠 法 令	児童福祉法		
設 置 条 例	新潟市児童館条例		
施 設 概 要	敷地面積454.28㎡ 延床面積235.67㎡ 鉄骨造平屋立て 主な施設内容（構成施設の内容） ・ 児童クラブ室（38.88㎡） ・ 図書室（20.25㎡） ・ 遊戯室（95.58㎡） ・ 事務室（20.25㎡） ほか		

施 設 設 置 目 的
児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにすることを目的として設置する。
管 理 ・ 運 営 に 関 する 基 本 理 念 、 方 針 等
（１）地域児童の健全育成と子育て支援の拠点として、地域社会と協力連携しながら、児童をはじめ地域住民に親しまれる児童館とする。 （２）児童がいつでも自由に利用できる、安全で安心な遊び場としての機能を備えるとともに、児童に健全な遊びや情報の提供を行う。 （３）児童館は、子どもが安全に安心して過ごせる居場所になることが求められることから、特に豊栄児童センターにおいては、中学生・高校生の居場所となるよう運営を行う。 （４）子どもの居場所づくりに取り組む地域や団体への支援を通して、地域全体で健全育成を進める環境づくりを行う。

令和7年度

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	利用者数	地域の児童が恒常的に来館しているか。イベントや行事等について北区全体からの参加があるか。	利用者総数6,043人。夏祭りなどの行事では北区はもちろん区外や市外からの参加もあった。	B	
	地域との連携	地域コミュニティや小中学校との事業共同開催	地区コミュニティや中学校と連携し、共催イベントやボランティア受け入れを実施。地域のお祭りでは児童によるたらいこ発表や遊びブースの出店などを行った。	A	地域と密に連携し、地域の特性を活かした事業を多数実施している。
	満足度	利用者（保護者）アンケートで「満足」が多数であるか	アンケートでは90%が『楽しい』『とても楽しい』と回答。	A	アンケート結果から利用者の満足度の高さが伺える。
	要望、苦情への対応	要望、苦情への対応が速やかにされたか	大きな苦情はなかったが、常に事実確認と速やかな対応、職員間の情報共有を意識して行っている。	B	
財 務	管理経費の節減	管理経費の節減の取り組み、工夫が十分であるか	水道光熱費節約と工作材料に自然物や廃材の活用などで節約を心掛けている。	B	
業 務	仕様書等に定める事項の遵守	仕様書等に定める事項の遵守	遵守している。	B	
	行事の実施	児童等を対象とした行事を計画どおり実施したか	地域ボランティアの方の協力を得ながら、年間行事計画に沿って実施した。	B	
	中学生・高校生向けの取り組み実施	中学生・高校生が恒常的に来館しているか	年間利用は284人で前年度に比べ217人増加。早帰りや長期休みなどで定期的な利用がある。	A	人口減少の中でも、中学生の利用が増えるように取り組んでいる。
	事故・災害発生時の対応	マニュアルの策定、訓練等の実施状況	毎月の施設点検や各種災害に対する避難訓練及び保護者への周知などを実施。また、区主催の救急法講習に職員3名が参加した。	B	
人 材	職員研修の実施	内部研修の実施、外部研修への参加が十分であるか	研修に12回参加。	B	
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守している。	B	

【評価基準】

A: 要求水準（評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準（評価指標）が達成されている

C: 要求水準（評価指標）が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。（評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。）

指定管理者記載欄（アピールしたい事項・未達成項目への改善策等）

近隣小学校の児童数の減少に伴い来館人数は減少してしまったものの、岡方第二小と岡方第一小の児童らが学校の垣根を越えて交流をしており、令和9年度からの統合に向けて学校外での交流の場としての役割を児童館で補えていると感じる。また中高生の利用は、岡方中学校の生徒たちが早帰りや長期休みなどで定期的な利用があり、昨年と比べ大幅に利用が増加した。これまでは「児童館は小学生が遊ぶところ」という意識を中学生からは強く感じていたが、小学生時代によく遊びに来ていたことや中学校とのボランティア受け入れなどの交流を通してその意識が変わったように感じられる。次年度も中学生の居場所としてのアピールを行っていききたい。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 （ 所 見 ）

地域の環境や伝統を活かして、地域と連携した事業を年間を通じて多数、継続的に実施している。地域の小中学校の環境が変わっていく中、中学生ボランティアを強化するなど、現状に応じて運営を工夫している。以上の点などから、施設目的を達成しているものと評価する。